

## 第2回倉吉市中学校部活動地域展開等推進協議会（概要）

1 日 時 令和8年1月29日（木）午後2時25分から午後4時30分

2 場 所 倉吉市役所北庁舎 3階 A会議室

3 出席者

（1）委 員 スポーツ協会、中学校PTA連合会、スポーツ少年団、中学校体育連盟、  
中学校文化連盟、地域学校委員会、鳥取県教育委員会事務局体育保健課

（2）事務局 教育長、事務局長、学校教育課、社会教育課

4 報告事項（主な内容）

（1）中学校部活動地域展開等に係る児童生徒および保護者へのアンケート結果等について

（委 員）これから部活動をしていくのは小学生なので、小学生5・6年生だけでなく、もう少し広げて小学生1年生からアンケートを実施した方が良かったのでは。

（事務局）今後の方向性を考える中では、今回の対象で良いと判断した。アンケート対象を小学生の低学年まで範囲を広げると、なかなか判断ができない状況なので対象を広げることは現実的ではない。ただ、周知していくことは大事だと考えている。

（委 員）中学校部活動の地域展開・地域連携について、「わからない・どちらともいえない」という回答が多いので、小中学生の保護者に理解していただく必要がある。部活動地域展開等に関心が無い方は回答されていないと思うので、「わからない・どちらともいえない」という数値はもっと高くなると思った。

（委 員）アンケートで指導者の問題、送迎の問題、受益者負担の問題があるが、国のほうも補助金を出してきているので、解決されていく方向でないかと思う。児童生徒の意見を聞かれたことは大事なことで、子どもの視点で地域展開を進めていくための大切な資料となると思う。放課後の過ごし方の心配を払拭していくような受け皿が必要になってくる。

（2）倉吉市中学校PTA連合会との意見交換の内容について

（委 員）地域展開された地域クラブの活動場所は、学校施設を使用できると活動しやすいので、休日の部活動地域展開を考えると基本的には学校施設を使っていく方向でよろしいか。使用料金はどうか。

（事務局）今現在も、学校教育に支障がない時は、平日の夜間や休日に学校施設（体育館等）を利用してスポーツ活動をされているので、部活動地域展開でも利用できる。料金については、学校開放事業に登録されている団体は、施設利用料は無料であるが、電灯使用料は負担していただいている。

（委 員）倉吉市が認定した地域クラブができれば、認定地域クラブが使用するときは、無償になったり優遇されたりして、一般の地域クラブと区別する方法をとっているところは多い。

（委 員）公認地域クラブの認定条件のハードルはどうか。認定のハードルが高すぎると手を上げて実施する環境にならないのでは。国・県によって一定の条件を作るのか。

（委 員）認定の条件は示されている。各市町の状況に応じて決めていくので、一律ではないが一定の条件を作る必要がある。

（委 員）中体連の大会で個人戦は出場できたが、単独校で団体戦に必要な人数が確保できないので、出られなかった。合同チームでも出場できるように、この推進協議会でも検討してほしい。

- (委員) 中体連に関しては、団体種目で必要人数が足りない学校同士は合同チームで出場できるが、個人戦のある種目では合同チームが組めないルールとなっている。
- (事務局) 競技ごとで取扱が違うので各競技団体に委ねないといけない部分もある。ただ、中体連に申し入れをすることはできる。
- (委員) 指導者の確保について、指導しても良いと思っている教職員がいれば、指導者の確保に繋がると思うが。
- (委員) 地域クラブの指導者は、教職員なしでは考えられないので、希望者を募って、やりたい人には兼職兼業届を提出してもらうこともできるが、現場の状況もあり、難しい面もある。
- (3) スポーツ競技団体との意見交換の内容について
- (委員) 競技ごとに様々な課題があると思った。意見交換されていない競技でも、また違った問題があると思う。何か固定してしまうと、先ほどの中体連の団体戦のようなことになるので、ある程度、柔軟な対応ができるような仕組み作りが必要と思った。
- (委員) 推進会議で社スポーツ少年団卓球部の取組を紹介され、どなたでも参加でき、レベルに合わせて指導されている。とても良い取組をされている。
- (委員) 剣道連盟の予算はどこから出るのか。
- (事務局) 剣道連盟が考えられた案として、1回参加するのに1人が何円とし、年に40回程度の教室を開催すると想定したときに、これくらいあれば運営できると考えられた金額である。受益者負担なのか公的負担なのかその他なのかの判断はこれから。
- (委員) 部活動一覧について、部活動に入って活動されている生徒の人数がわかると良かった。次回の会の時には人数を入れた資料にしてほしい。
- (事務局) 新たな人数を把握し、次回の推進協議会で最新の人数を示したいが、半年ごとで人数が変わってくるので、人数が参考になるかわからないが、いつの時点での人数を把握したいのか非常に難しい。
- (委員) 全部一緒に実施するのは非常に難しいと感じたので、地域展開のモデルとなる競技があると話がしやすいと思った。
- (4) その他
- (委員) 部活動地域展開ができる競技団体から手を上げていただいて進めれば良い。実施にあたっては、保護者の負担や保険の問題などルールを決めないと試行できないが、陸上競技は準備ができています。
- 4 その他(今後のスケジュール)
- (委員) 地域展開のモデルとなる競技の決定はどこがするのか。
- (事務局) 令和9年度からモデル事業を試行できればと考えている。令和8年度中に諸条件を整えて、推進協議会から提言という形で御意見をいただきたい。